宮崎県新規就農資料

みやざきで農業はじめよう

宮崎県新規就農相談センター

総合窓口：（公社）宮崎県農業振興公社

分室：（一社）宮崎県農業会議・JA宮崎中央会

宮崎県農業の概況

農業は、宮崎県の重要な基幹産業です。温暖な気候を利用して、多種多様な作物が作られています。

農産物では、ビニールハウスを利用した「きゅうり」や「ピーマン」が、畜産物では、宮崎牛をはじめとする肉用牛や豚、ブロイラー(にわとり)が、全国でもトップクラスの産地となっています。

これらの農畜産物は、東京、大阪などの大都市へ主にトラックを使って出荷され、各地の消費者に届けられています。

主な農畜産物と生産量

米	きゅうり	ピーマン	かぼちゃ	ごぼう	さといも	きんかん	日向夏
77,800トン	60,700トン	26,800トン	4,010トン	10,200トン	13,400トン	2,608トン	3,389トン
全国31位(R3)	全国1位(R2)	全国2位(R2)	全国6位(R2)	全国4位(R2)	全国3位(R2)	全国1位(H30)	全国1位(H30)

マンゴー	スイートピー	ラナンキュラス	茶	肉用牛	乳用牛	豚	ブロイラー(にわとり)
1,165トン	3,080万本	158万本	3,100トン	25万頭	136百頭	79万7千頭	2,801万羽
全国2位(H30)	全国1位(R1)	全国3位(R1)	全国4位(R2)	全国3位(R2)	全国13位(R3)	全国2位(R2)	全国1位(R2)

宮崎県の気候

快晴日数	52.7日	全国2位
日照時間	2,116時間	全国3位
平均気温	17.4℃	全国3位
降 水 量	2,509mm	全国2位

(宮崎市、昭和56年～平成22年の平均値)
資料:気象庁「日本気候表」

令和3年次新規就農者は405人
(新規参入66人 後継者95人、法人就農244人)

宮崎県の農業産出額

令和3年 宮崎県における産出額上位10品目 (単位:億円)

肉用牛	815
ブロイラー	739
豚	518
きゅうり	167
米	159
ピーマン	110
鶏卵	106
生乳	84
トマト	62
だいこん	50

農業産出額の
全国順位は4位!!

就農までの道すじ

就農相談・体験

幅広く相談・情報収集

3ページへ

・何故農業をはじめたいのか
・経営作物・栽培方法・栽培規模・販売方法などの情報収集
・農地・施設・資金などの情報収集
・家族への相談
・自己資金の準備
・就農の問題点の明確化
・活用できる制度・資金の情報収集

就農相談窓口で相談

裏表紙へ

・農業振興公社・農業会議
・県内市町村相談窓口
・西臼杵支庁・各農林振興局
・JA宮崎中央会・県内JA相談窓口
・県内農業委員会相談窓口
・県外相談窓口

就農相談会等、就農イベントへ参加

体験・現地見学・短期研修

6ページへ

現地視察や農業体験を行い、ご自身の持っている農業のイメージと合っているか確かめましょう。

●研修施設の視察・農業体験
●農家や農業法人での体験、アルバイト等
●農業インターンシップ

就農ビジョンを明確にする

3ページへ

起業し経営者となるか、農業法人等へ就職し、農業に携わるかこれから目指す道すじを固めましょう。

農業法人等へ就職

6ページへ

独立・自営就農を目指す

研修・就農準備（1～2年）

就農準備の計画を立てる

3ページへ

就農ビジョンを描いたら、そのための準備をいつどのように進めるか計画しましょう。

就農に必要な6つの要素

①技術の習得
②農地の確保
③資金の確保
④農業機械・施設等の取得
⑤労働力
⑥住居の確保

研修先の選定・研修開始

4ページへ

栽培や、経営管理など農業経営に関わる技術や知識を習得しましょう。

研修の種類

●宮崎県立農業大学校での研修
●みやざき農業実践塾での研修
●各JAトレーニング施設での研修
●先進農家研修

営農計画、資金利用計画

5ページへ

農地や機械・施設を確保しながら、就農計画の作成をすすめていきます。

就農計画や資金

●青年等就農計画
●青年等就農資金

就農準備

5ページへ

主な準備の内容

●農地、住居の確保
●農業機械、施設等の取得
●制度資金等の利用
●部会、販売組織への加入

農業経営の開始

農業経営者になりたい ～何故農業をはじめたいのか

農業とは？

農業は、土地・水・太陽エネルギーを最大限に活用して作物・家畜を育て、販売し、その販売代金で生活費や生産費を賄う職業です。

従って、生産物を販売するまでは収入を期待できず、その期間の生活費・生産資材の購入には自己資金の確保が必要です。また、作物の生育は、天候に影響されやすく、販売価格は市場等で決定されるため、計画通りの収益を得られないこともあります。

農業の道に進む前に、どうして農業を始めたいのか考えてみましょう

植物や動物が好きだから →

農業は単に植物や動物を育てるだけでなく、販売や資材の購入、農業機械の取扱い、経理、税務など、農業経営を営むための幅広い知識と能力が必要とされます。

自分のペースで働きたい →

農業は自由に時間が使えるというイメージかもしれません。実際は農業は忙しいというのが実情です。天候や作物の特性で、作業が一時期に集中してしまうこともあります。

組織の中で働くのが苦手 →

JA部会や生産組織での様々な活動が、自分の経営の向上に繋がります。農村集落でも色々な行事への参加など、周囲の人たちとの助け合いも大切です。

農業で収入を得たい →

農業を始めても、最初の収入を得るまで、また、安定した収入を得るようになるまでには、長い時間がかかります。コストを下げて収益を確保するため、専業農家は大変な努力をしています。

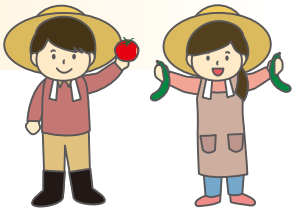
目指す農業経営のビジョンを明確に

新しく農業を始めるということは、新たに事業を開始するということです。
自分がやりたいと頭の中で描いている農業のイメージを固め、相談窓口を通じて次第に具体化していくことが必要です。
自分が将来「どこで、どんな農業をするのか」を就農相談、農業体験等を経て固めていきましょう。

就農地域の選定は？

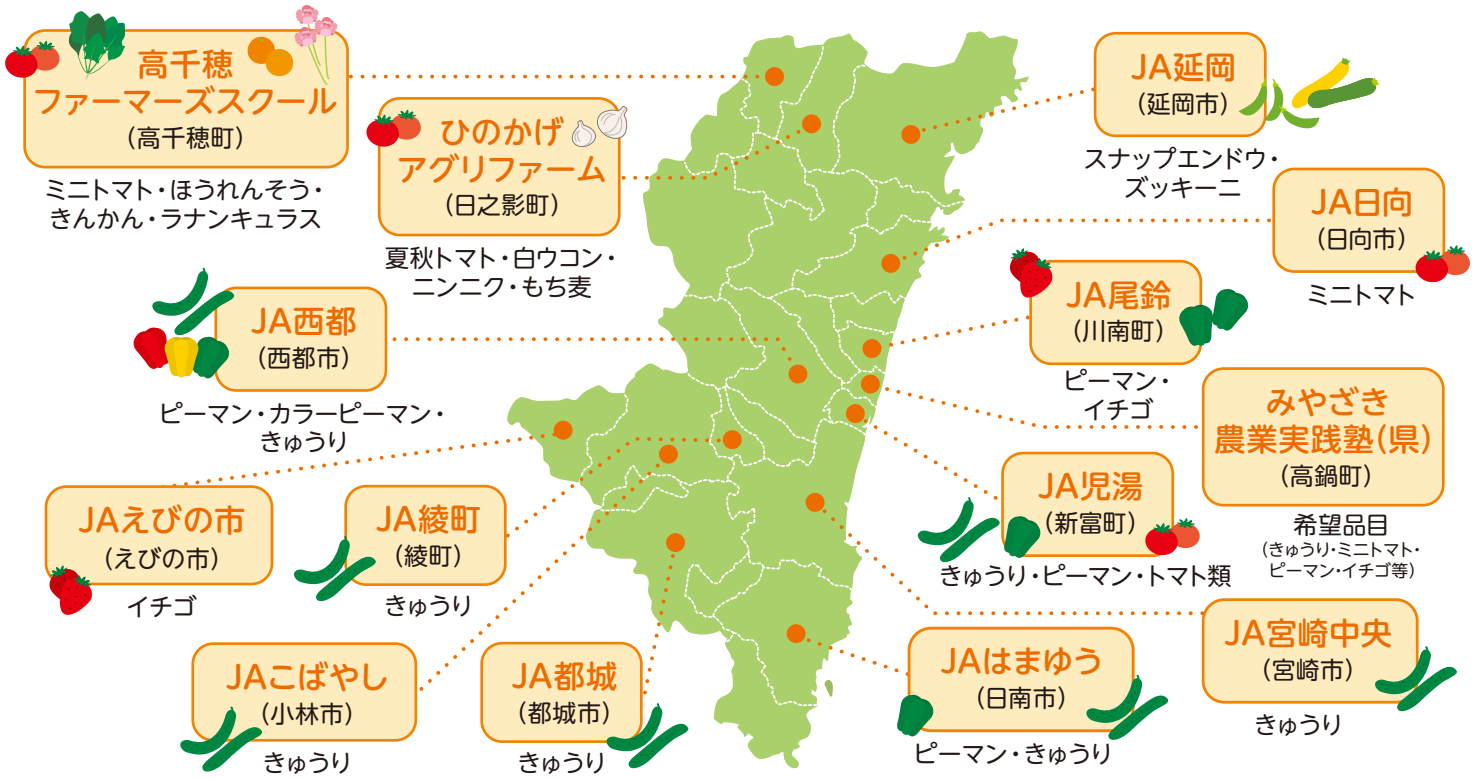
農業を始める場所、いわゆる就農地域は「どんな農業をするのか」「何の作目を作りたいか」「どういう生活をしていきたいか」などが選ぶ要素として重要です。また、主産地といわれる地域は、その品目の生産技術が高く、出荷体制も整備されていることも多く、初めて農業に取り組む人にとっては安心できるものと思われます。

家族の理解と協力は？



農業を始めるということは、単に職業を変えるということだけでなく、生活環境の変化など、家族にも様々な変化を強いることになります。家族全員で良く話し合いを行い、理解を得ておくことが必要です。

宮崎県内の研修施設



新規就農者研修受入先一覧（就農トレーニング施設等）

No	就農先市町村(所在地)	設置者等	運営主体	品　目	お問合せ先
1	県内全域(高鍋町)	宮崎県	みやざき農業実践塾(宮崎農業総合研修センター)	希望品目(きゅうり・ミニトマト・ピーマン・イチゴ等)	☎0983-23-7447
2	宮崎市・国富町(宮崎市)	JA宮崎中央	(有)ジェイエイファームみやざき中央	きゅうり	☎0985-89-4660
3	綾町	JA綾町	JA綾町胡瓜生産組合	きゅうり	☎0985-77-1212
4	日南市	JAはまゆう	(有)ドリームランドはまゆう	ピーマン・きゅうり	☎0987-23-5155
5	都城市・三股町(都城市)	JA都城	JA都城	きゅうり	☎0986-38-6693
6	小林市・高原町(小林市)	JAこばやし	JAこばやし	きゅうり	☎0984-23-1313
7	えびの市	JAえびの市	JAアグリランド田の神さぁ	イチゴ	☎0984-33-5758
8	西都市・西米良村(西都市)	JA西都	(株)アグリさいと	ピーマン・カラーピーマン・きゅうり	☎0983-35-4129
9	高鍋町・新富町・木城町(新富町)	JA児湯	JA児湯	きゅうり・ピーマン・トマト類	☎0983-22-4571
10	川南町・都農町(川南町)	JA尾鈴	(株)アグリトピアおすず	ピーマン・イチゴ	☎0983-27-1978
11	日向市・門川町・諸塚村・椎葉村・美郷町(日向市)	JA日向	JAファームひゅうが	ミニトマト	☎0982-52-6217
12	延岡市	JA延岡	JA延岡	スナップエンドウ・ズッキーニ(予定)	☎0982-23-1891
13	高千穂町	高千穂町	高千穂ファーマーズスクール	ミニトマト・ほうれんそう・きんかん・ラナンキュラス	☎0982-73-1208
14	日之影町	(株)ひのかげアグリファーム	(株)ひのかげアグリファーム	夏秋トマト・白ウコン・ニンニク・もち麦	☎0982-73-8030

みやざき農業実践塾

宮崎県内で新たに就農を目指す人を対象に、就農に必要な農業の基礎知識や栽培技術等を習得していただくための研修施設です。宮崎県が運営しています。栽培施設(ハウス)や露地圃場等を利用して、野菜栽培についての実践的な知識・技術の学修を行います。

各JAトレーニング施設

宮崎県では平成28年頃からJAトレーニング施設の本格的な整備をスタート。現在(2020年2月)、JAグループの県内11カ所のトレーニング施設で研修を実施しています。期間は1～2年間で、地域ごとに産地の主力品目を栽培する最新鋭の施設を整備するなど、技術習得のための環境が整っています。

青年等就農計画制度

青年等就農計画とは、これから農業を始めようとする方が自らの農業経営に関する目標や必要となる施設・機械等についてまとめた就農に関する計画です。青年等就農計画制度は、この計画の認定を受けた新規就農者（認定新規就農者）に対して、資金や農地集積に関して重点的に支援するというものです。

対象者

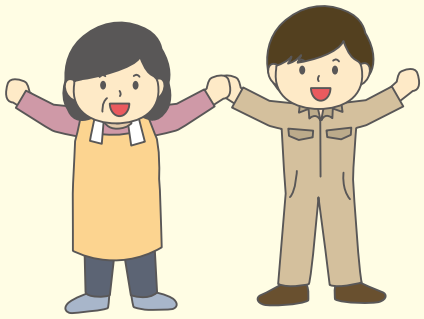
その市町村の区域内において新たに農業経営を営もうとする青年等

●青年（原則18歳以上45歳未満）　●知識・技能を有する者（65歳未満）　●上記の者が役員の過半を占める法人

※農業経営を開始してから一定期間（5年）以内の者を含み、認定農業者を除く。（認定農業者とは、生産規模の拡大や経営管理の合理化などについて記載した農業経営改善計画を作成し、市町村から認定を受けた者）

青年等就農計画の認定の流れ

1. 青年等就農計画を作成し、市町村へ提出
2. 市町村が基本構想に照らして同計画を審査
3. 市町村から当該計画申請者へ認定を通知
4. 認定新規就農者となる（市町村、都道府県等関係機関により、計画達成をフォローアップ）



新規就農者を応援する制度

●就農準備資金

次世代を担う農業者となることを志向する方に対し、就農前の研修を後押しする資金（年間最大150万円　最長2年間）を交付
主な要件：県が認めた研修機関等で概ね1年以上研修すること。　就農予定時の年齢が原則49歳以下 等
交付主体・お問い合わせ先：（公社）宮崎県農業振興公社

●経営開始資金

次世代を担う農業者となることを志向する方に対し、独立・自営就農直後の経営確立を支援するため年間最大150万円を最長3年間交付
主な要件：独立・自営就農時年齢が原則49歳以下で、人・農地プランに位置づけられた（見込みを含む）認定新規就農者
交付主体・お問い合わせ先：各市町村 農政担当課

●青年等就農資金

青年等就農計画に即して農業経営を開始するために行う機械・施設の購入等に必要な資金を無利子で融資
対象者：認定新規就農者
融資期間：17年以内（うち据置期間5年以内）　融資限度額：3,700万円（特認1億円）
金利：無利子
担保・保証人：実質的な無担保・無保証人制度

就職したい方は…

農業法人への就職

法人で農業をするには、将来の自営就農を目指した技術習得目的の「研修」というタイプと、雇用契約を結ぶ「雇用」というタイプがあります。「研修」の場合には、研修費用を支払うもの、無報酬のもの、手当が出るものまで様々な形態があります。また、研修目的であっても「雇用」形態をとる場合もあります。

＊農業法人で働く目的の明確化＊

1. 農業法人で働くこと自体が目的なのか、将来の独立のためのステップなのか考えましょう。
2. 作目、地域、労働条件の希望を整理しましょう。
3. 勤務内容は、農作業中心か、加工、販売、事務作業が中心か明確にしましょう。

ココも大事

希望の農業法人を見つけたら、会社の担当者と勤務内容、勤務条件、将来像などについてよく話し合い、お互いが合意したならば労働契約を結びましょう。

農林水産省補助事業

●農業インターンシップ

農業法人への就職を希望する方や、農業に興味があり体験をしてみたい方のための2日以上から6週間までの短期就業体験ができます。

＊(公社)日本農業法人協会が運営

就農に関する様々な情報はこちらのWebサイトをご覧ください。

農業をはじめる.JP

農業をはじめる.jp https://www.be-farmer.jp

宮崎の就農に関する情報サイトはコチラ!!

宮崎県新規就農相談センター

宮崎県新規就農相談センター
https://www.mnk.or.jp/sinki/
宮崎県農業振興公社 検索

みやざき援農

みやざき援農
https://www.ennou-miyazaki.com
みやざき援農 検索

日本のひなた宮崎県 「日本のひなた宮崎県」移住・UIJターン情報サイト あったか宮崎ひなた暮らし

あったか宮崎ひなた暮らし
https://iju.pref.miyazaki.lg.jp
あったか宮崎 検索

宮崎県の就農相談窓口

（令和4年度現在）

●総合相談窓口（宮崎県新規就農相談センター）

相談時間：午前9時～午後4時　事前の電話連絡をお願いします。

総合窓口	郵便番号	住　所	電話番号
(公社)宮崎県農業振興公社 担い手支援課	880-0913	宮崎市恒久1丁目7番地14	0985-51-2631 0985-51-2011
分　室	**郵便番号**	**住　所**	**電話番号**
(一社)宮崎県農業会議	880-0913	宮崎市恒久1丁目7番地14	0985-73-9211
宮崎県農業協同組合中央会 農業振興部	880-0032	宮崎市霧島1丁目1番地1	0985-31-2054

●地域における相談窓口（地区就農相談センター）

	市町村窓口		県窓口（各農林振興局、西臼杵支庁）			農業協同組合	
	名　称	担当課名	名　称	担当課名	電話番号	名　称	担当課名
中部	宮崎市	農政企画課	中部農林振興局 （中部農業改良普及センター）	地域支援課 地域振興担当	0985-30-6121	JA宮崎中央	営農企画課
	国富町	農林振興課					
	綾町	農林振興課				JA綾町	生産指導課
南那珂	日南市	農政課	南那珂農林振興局 （南那珂農業改良普及センター）	地域支援課 地域振興担当	0987-21-9550	JAはまゆう	農業振興課
	串間市	農業振興課				JA串間市大束	営農課
北諸県	都城市	農政課	北諸県農林振興局 （北諸県農業改良普及センター）	地域支援課 地域振興担当	0986-38-1554	JA都城	地域営農振興課
	三股町	農業振興課					
西諸県	小林市	農業振興課	西諸県農林振興局 （西諸県農業改良普及センター）	地域支援課 地域振興担当	0984-23-5105	JAこばやし	農業企画室　農業企画課
	えびの市	畜産農政課				JAえびの市	担い手支援課
	高原町	農政林務課				JAこばやし	農業企画室　農業企画課
児湯	西都市	農林課	児湯農林振興局 （児湯農業改良普及センター）	地域支援課 地域振興担当	0983-43-2311	JA西都	営農支援課
	高鍋町	農業政策課				JA児湯	営農企画課
	新富町	産業振興課					
	西米良村	農林振興課				JA西都	営農支援課
	木城町	産業振興課				JA児湯	営農企画課
	川南町	産業推進課				JA尾鈴	営農支援課
	都農町	産業振興課					
東臼杵	延岡市	総合農政課	東臼杵農林振興局 （東臼杵北部農業改良普及センター）	地域農業支援課 地域支援担当	0982-32-3216	JA延岡	営農総合対策課
	日向市	農業畜産課	東臼杵農林振興局 （東臼杵南部農業改良普及センター）	地域支援課 地域振興担当	0982-68-3100	JA日向	営農企画課
	門川町	農林水産課					
	諸塚村	産業課					
	椎葉村	農林振興課					
	美郷町	農林振興課					
西臼杵	高千穂町	農林振興課	西臼杵支庁 （西臼杵農業改良普及センター）	地域農業支援課 地域支援担当	0982-72-2158	JA高千穂地区	総合企画課
	日之影町	農林振興課					
	五ヶ瀬町	農林課					

●県外の相談窓口

窓口名	郵便番号	住　所	電話番号
宮崎県東京事務所	102-0093	東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館15階	03-5212-9007
宮崎県大阪事務所	530-0001	大阪市北区梅田1-3-1-900大阪駅前第1ビル9階	06-6345-7631
宮崎県福岡事務所	810-0001	福岡市中央区天神2-12-1天神ビル8階	092-724-6234

●宮崎県移住相談窓口

（宮崎ひなた暮らしUIJターンセンター）

宮崎本部	0985-27-3685	月～金　午前9時～午後6時 （定休：土日・祝日）
東京支部	03-6273-4200	火～日　午前10時～午後6時 （定休：月・祝日）
大阪支部	06-6348-3835	月～金　午前9時～午後5時 （定休：土日・祝日）
福岡支部	092-724-6234	月～金　午前9時～午後5時 （定休：土日・祝日）